

PASSION
FOR THE
BEST

2015/10/21 インターネットライブセミナー
株式物色戦略

～株価急落後、早期の回復が期待できる銘柄をピックアップ～

2015年10月

佐藤 光

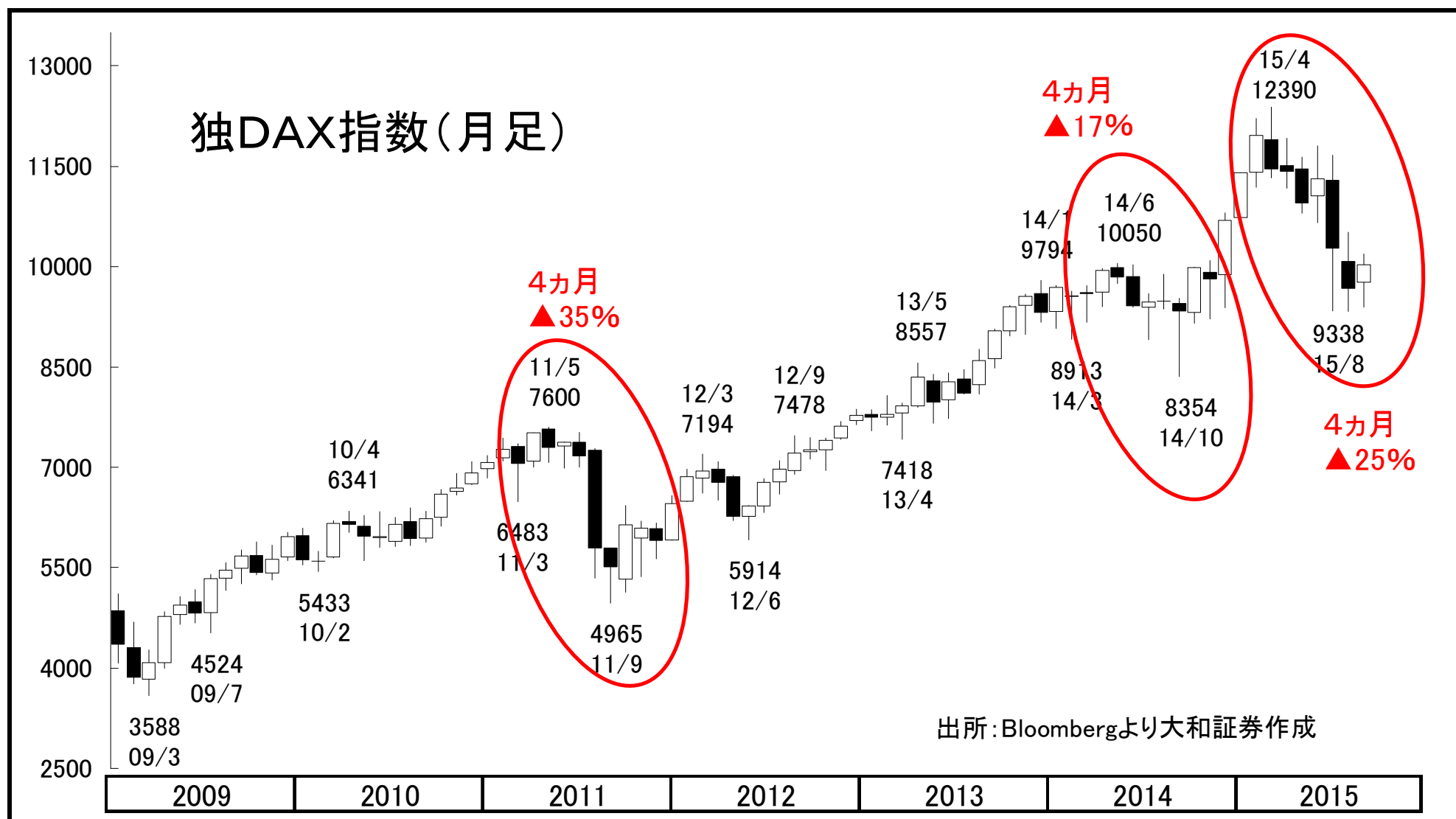
大和証券

Daiwa Securities

この資料は、ミーティング等における投資情報の提供活動に際し補助的資料として作成したもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。
事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。ご利用に際しては、末尾の開示事項の記載もご覧ください。なお、資料中の図表は作成時点の社名が作成者になっていることがあります、ご了承ください。

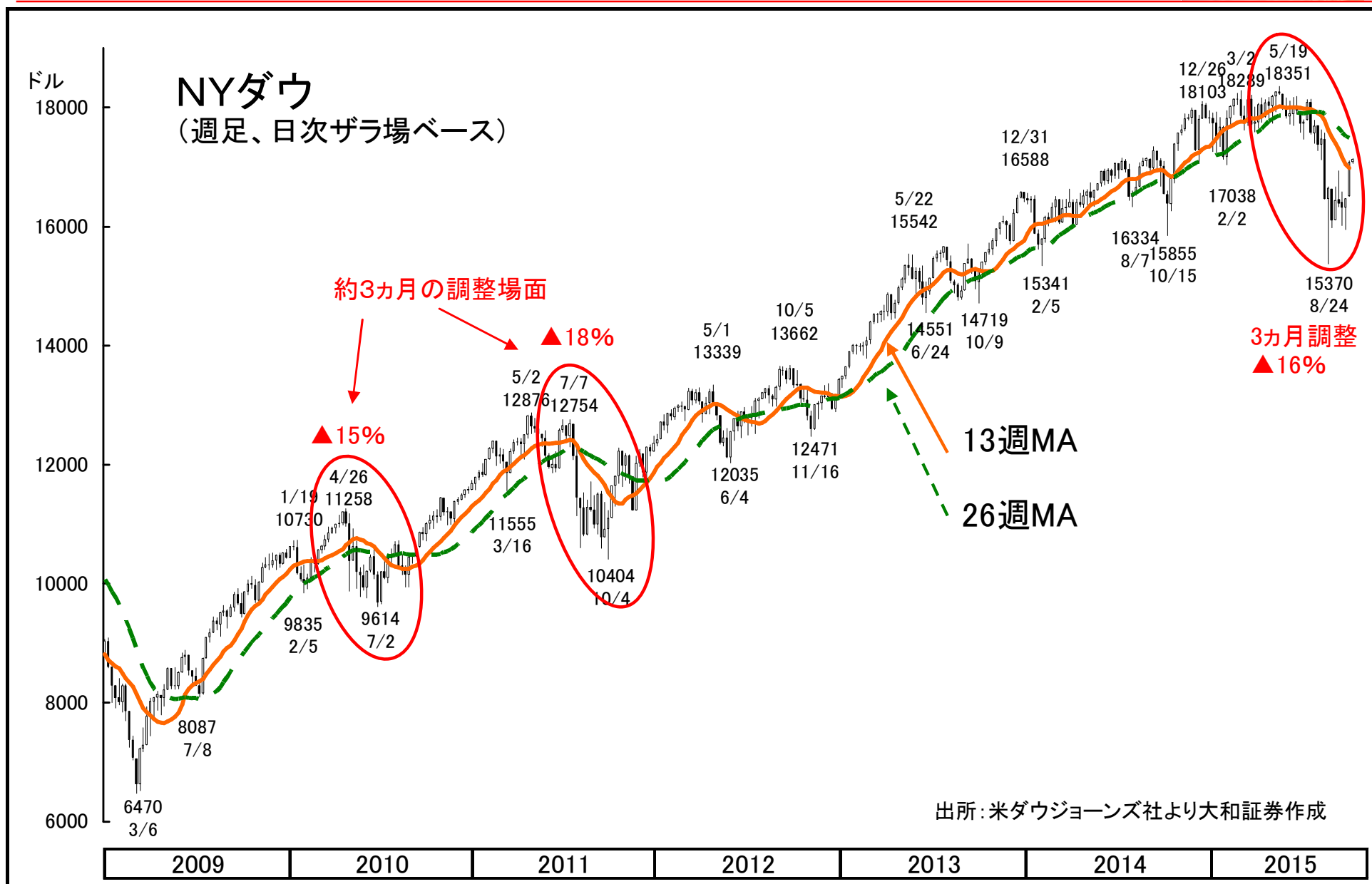
先行下落した独DAX指数は、4ヵ月調整で下げ止まる

PASSION
FOR THE
BEST



欧州に続き軟化したNYダウも、3カ月調整を終えて反発

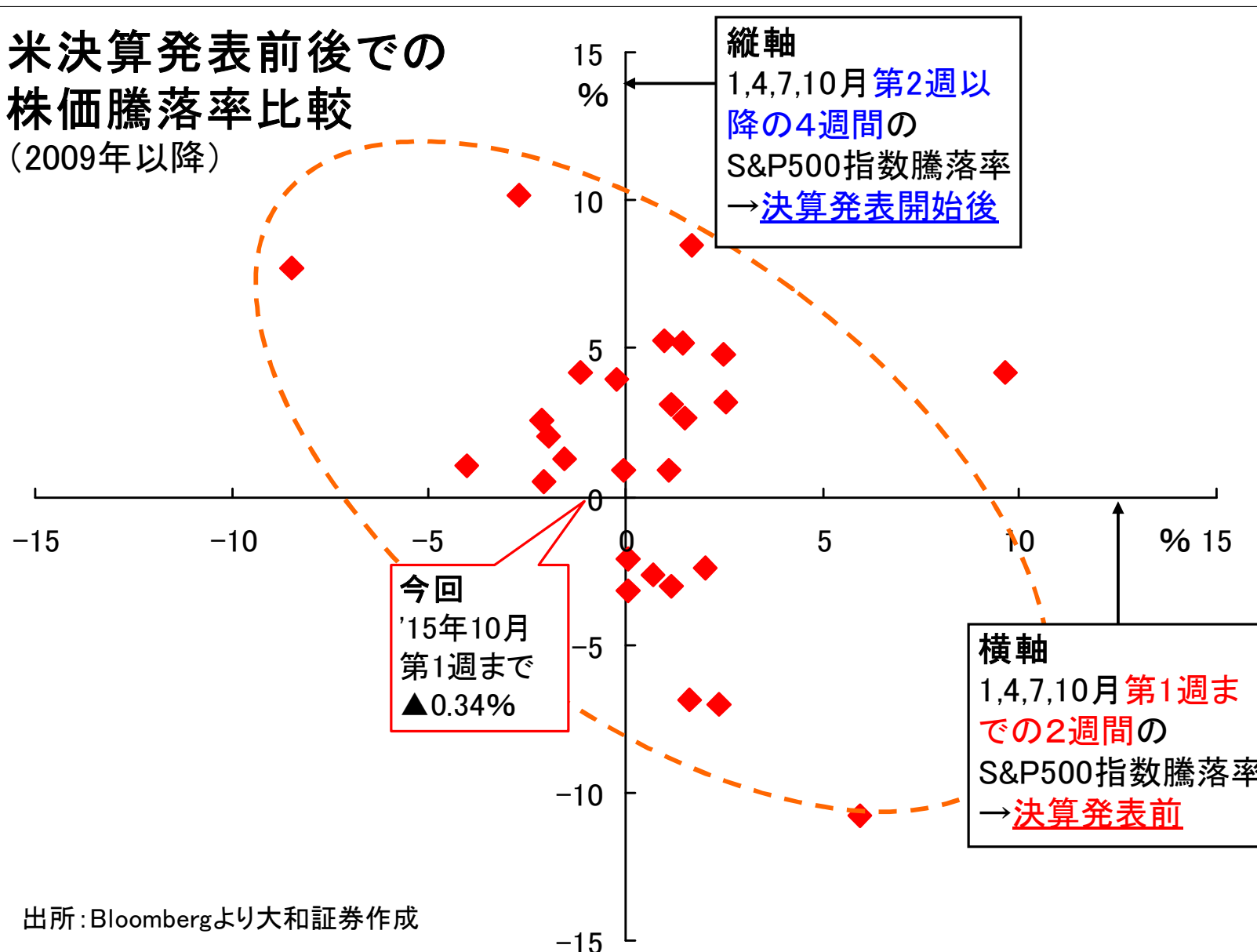
PASSION
FOR THE
BEST



決算発表前後で、米国株の短期的な方向性は逆転しやすい

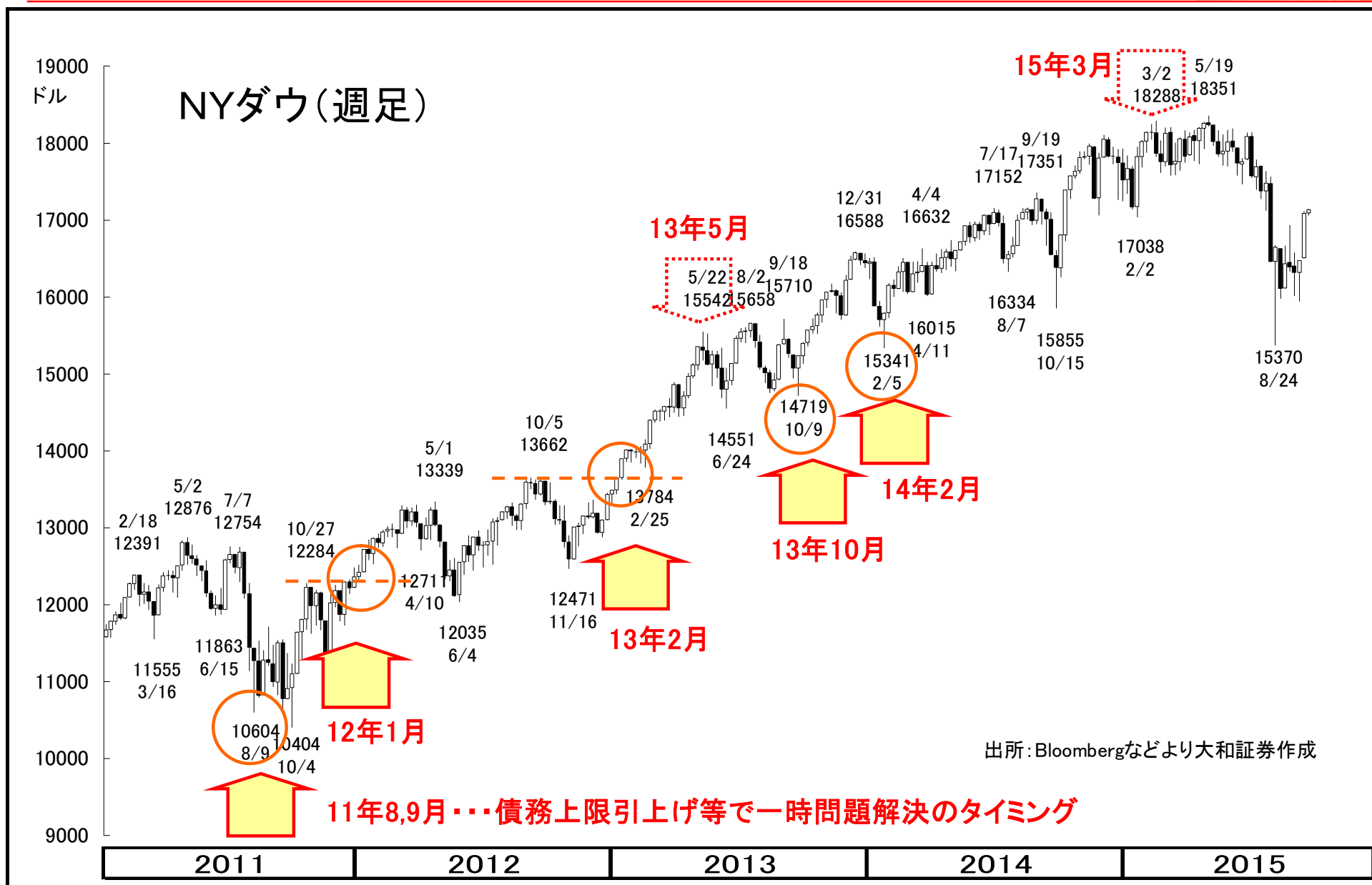
米決算発表前後での 株価騰落率比較

(2009年以降)



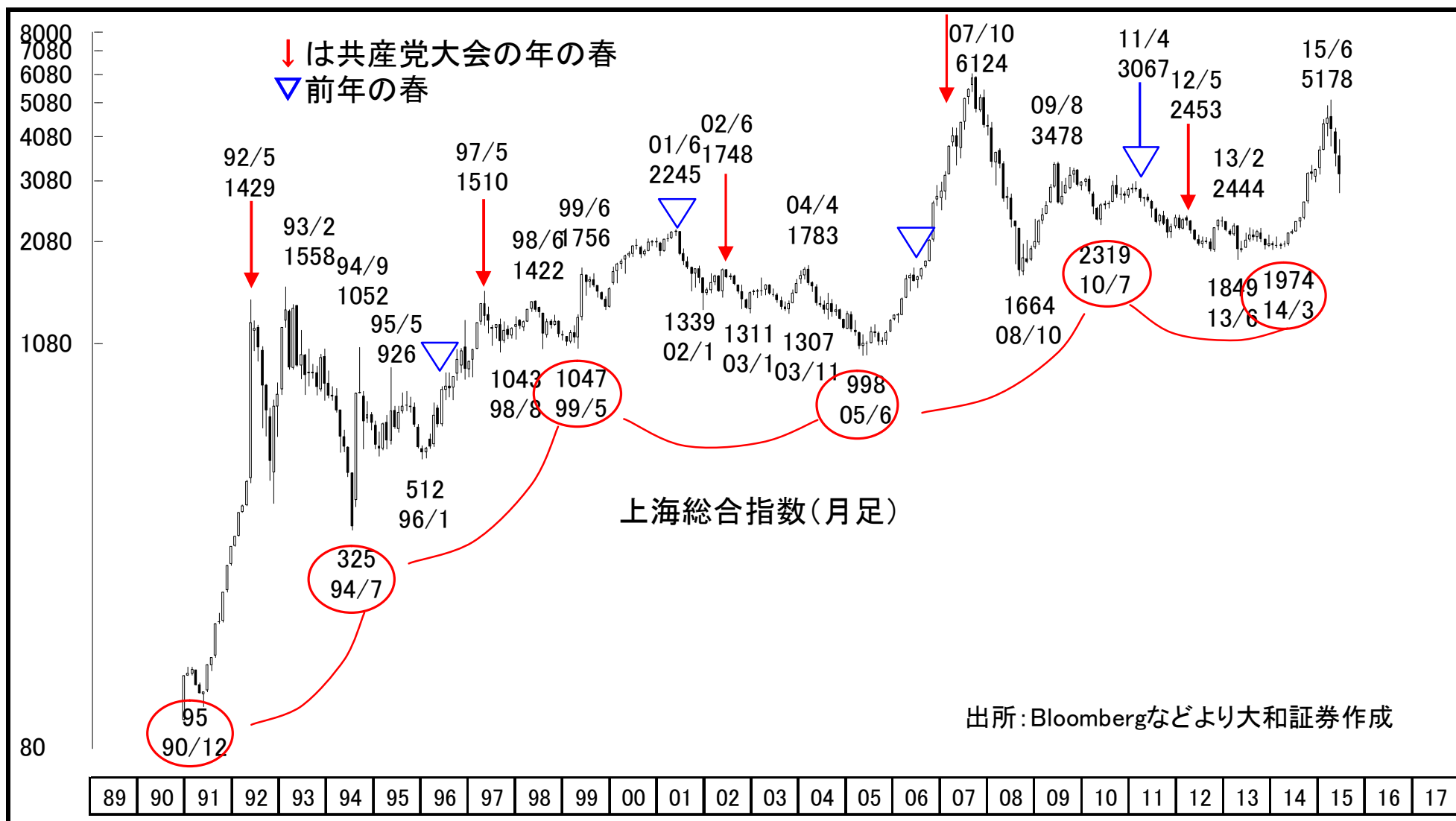
リスク要因は米連邦債務問題、11月末～12月初がヤマ場か

PASSION
FOR THE
BEST



中国は5年サイクル、16～17年に向け景気下支えの時期に

PASSION
FOR THE
BEST



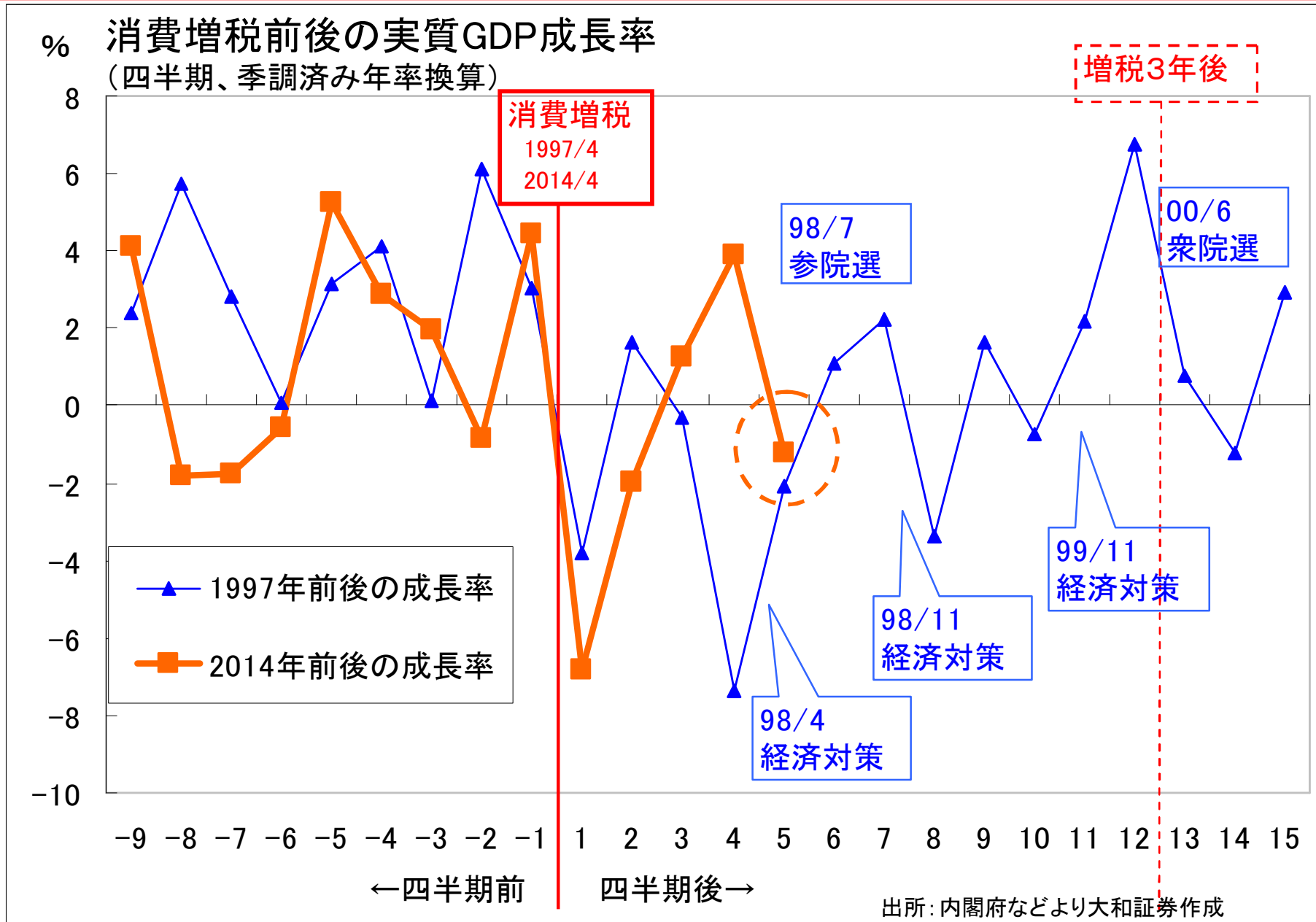
今後の中国首脳的主要な発言機会

10/26-29 五中全会(中国共産党中央委員会第五回全体会議)
→2016年からの次期経済5カ年計画を討議

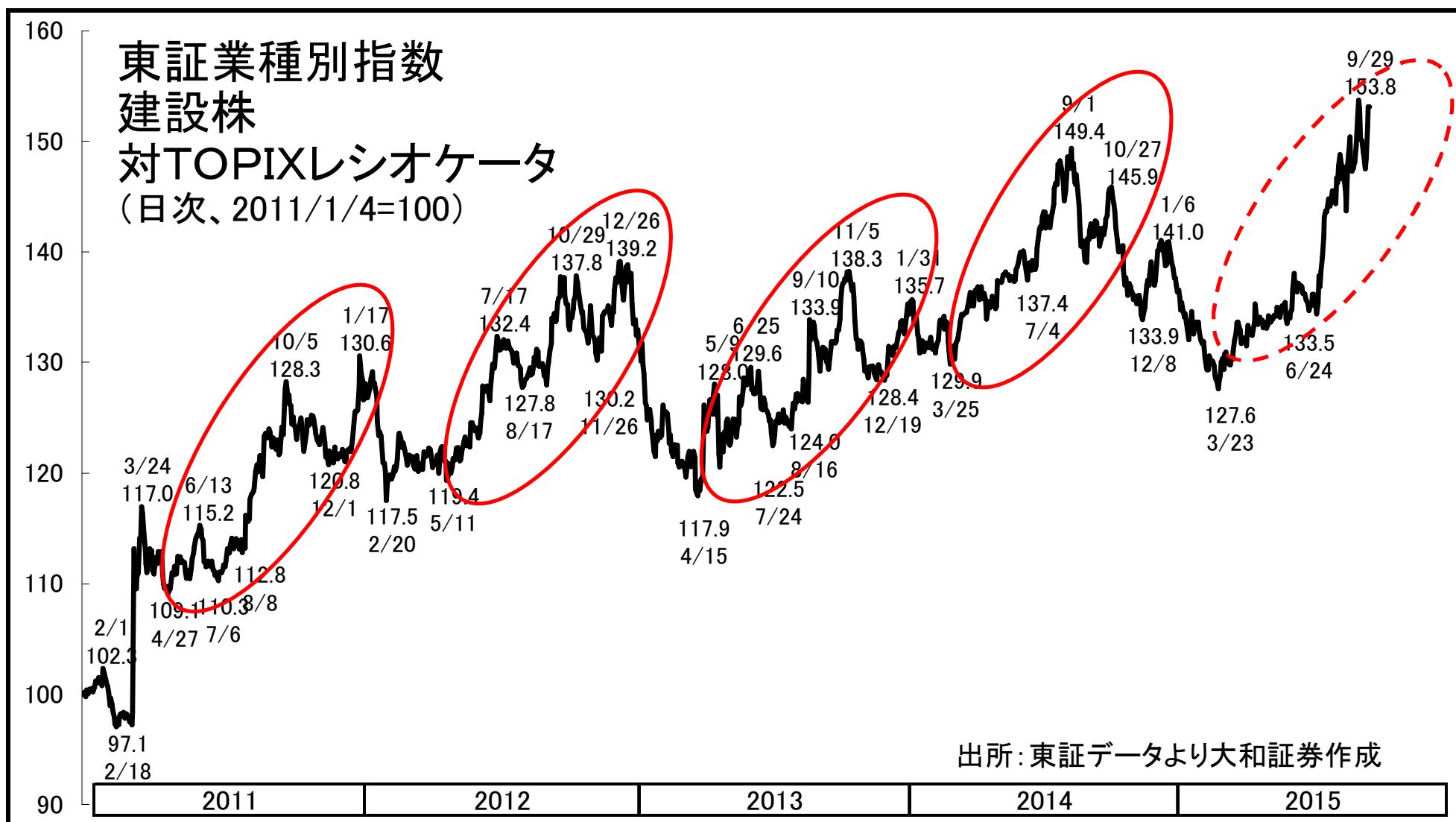
11/15-16 G20サミット(トルコ)

11/18-19 APEC首脳会議(フィリピン)

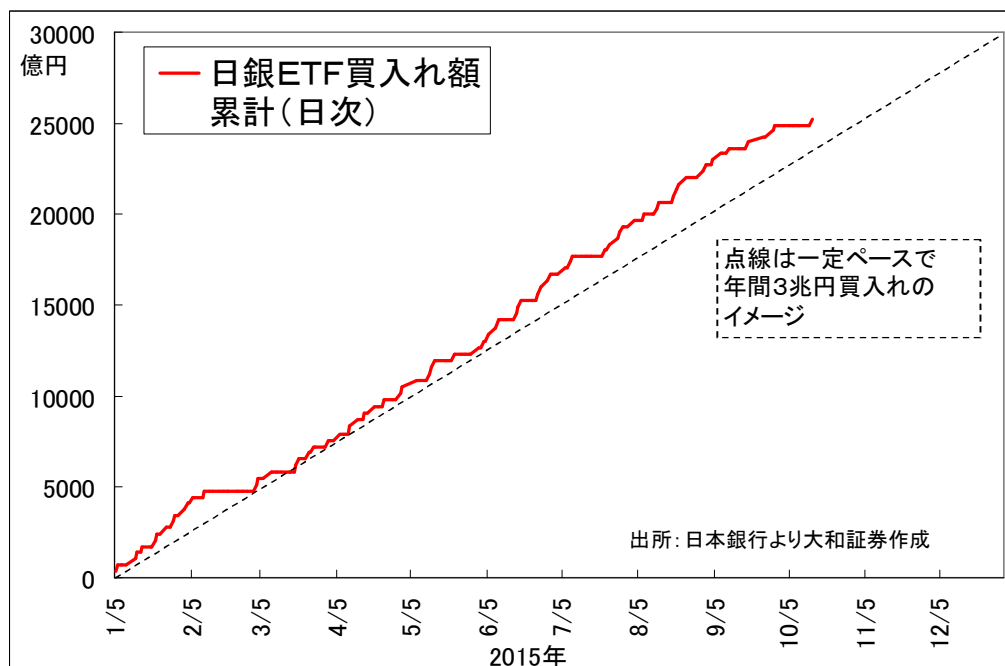
消費増税後は、相次ぐ経済対策で経済成長を下支え



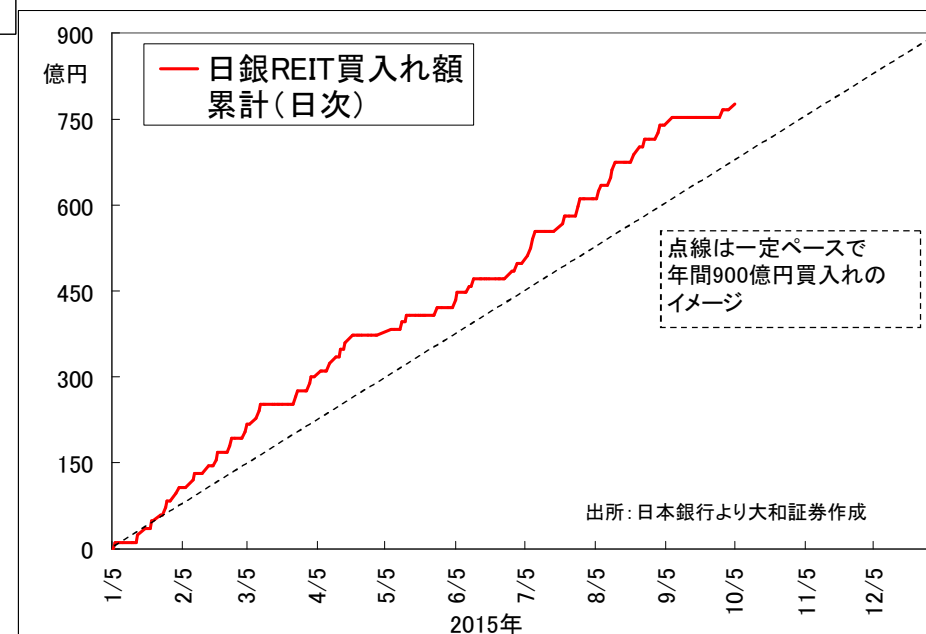
建設株は例年同様の好パフォーマンス、年末年始まで期待



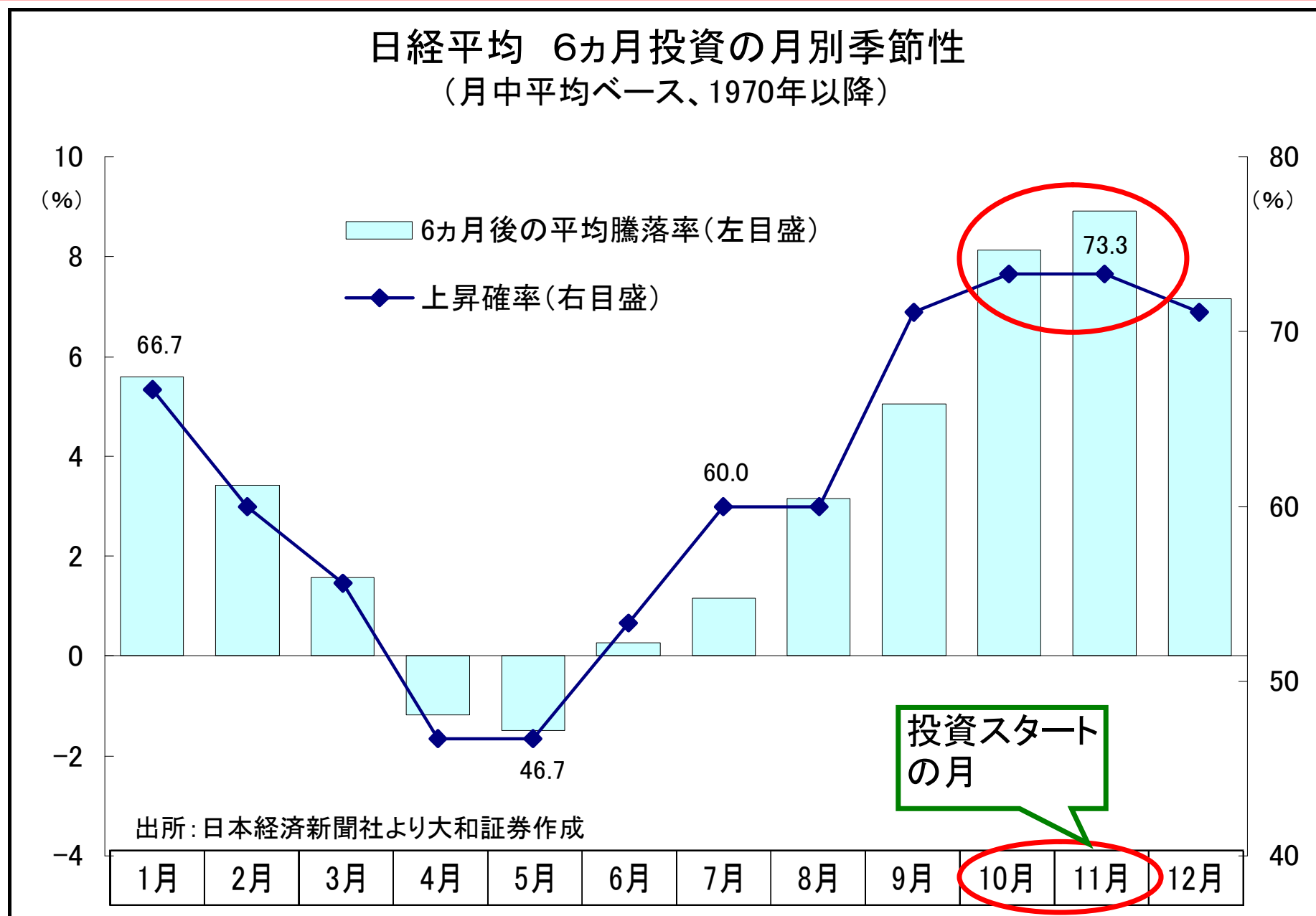
日銀の追加金融緩和への期待感も



日銀のETF、REITの買入れ額は
平均ペースをかなり上回り、
残りの枠は少なくなっている。

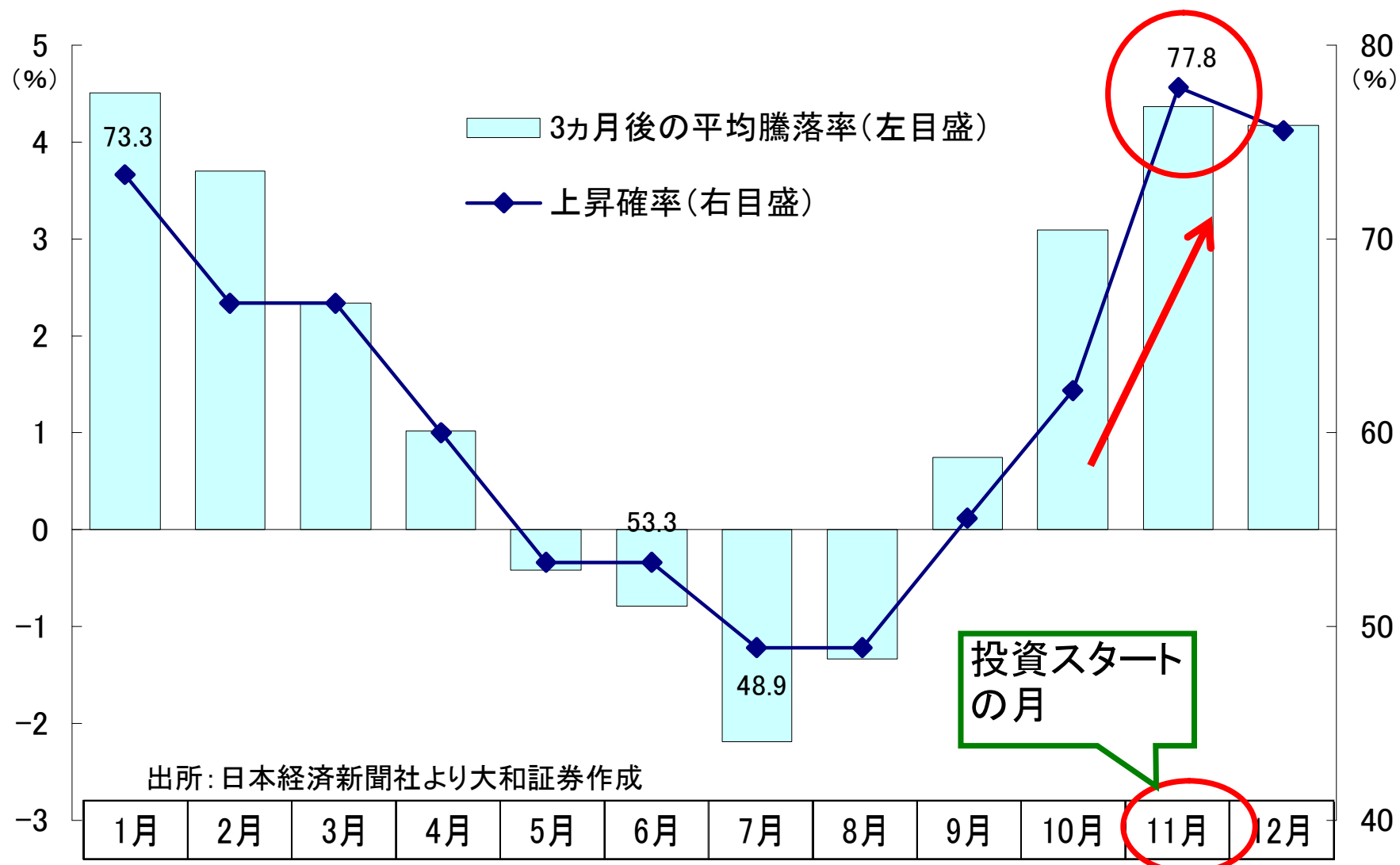


今・来月は、6ヵ月程度の株式投資の開始時期として最良に



3ヵ月投資のスタートとしても最良の時期に接近

日経平均 3ヵ月投資の月別季節性
(月中平均ベース、1970年以降)



下半期の株価動向は、10月の騰落が示唆？

1975～2014年の40年間で
日経平均が上半期に下落
したのは18回

そのうち、下半期に
上昇したのは12回
(上昇確率 66.7%)
株価の平均騰落率は4.7%

10月に上昇したのは10回

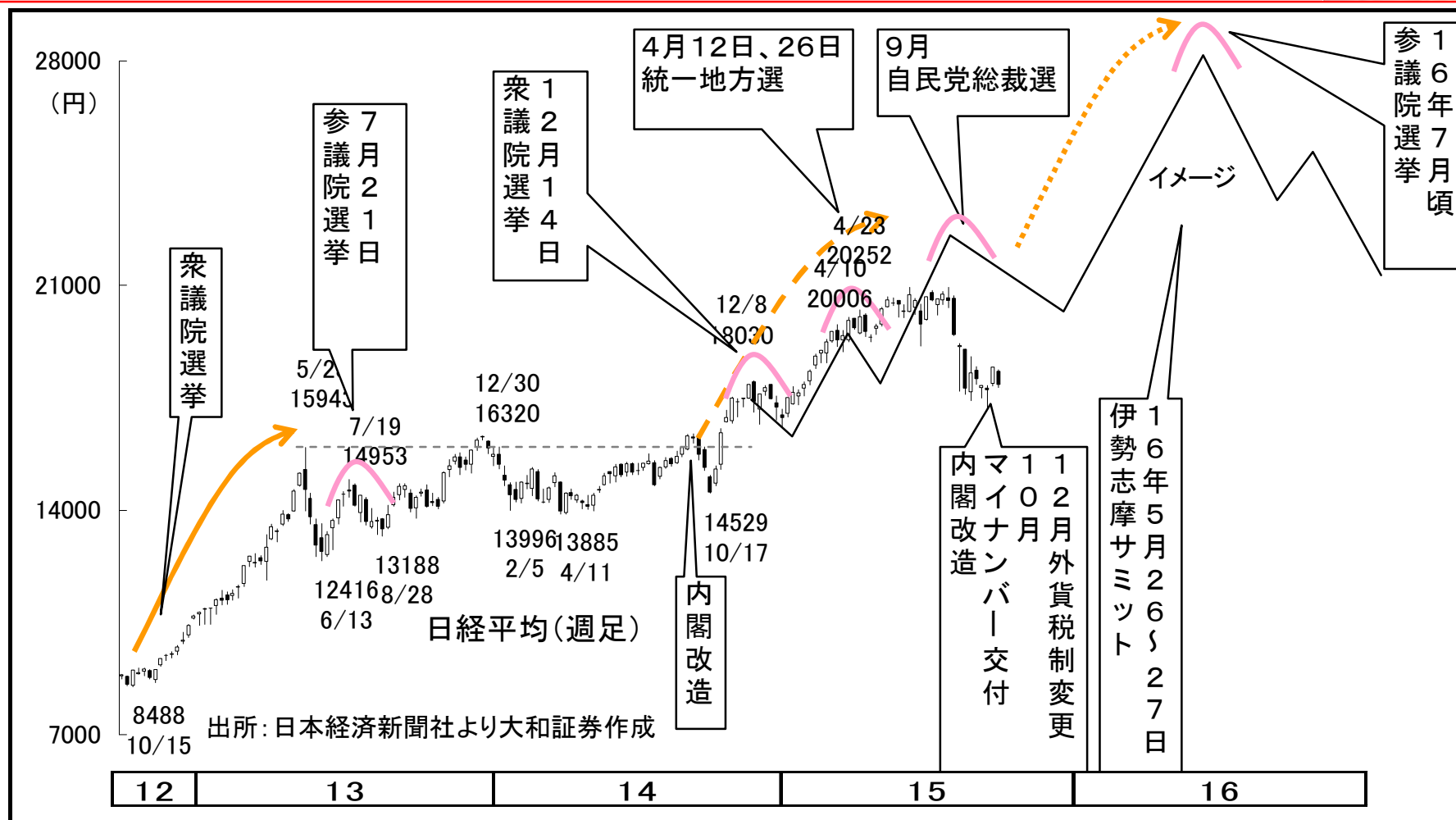
そのうち、下半期に
上昇したのは9回
(上昇確率 90.0%)
株価の平均騰落率は15.9%

10月に下落したのは8回

そのうち、下半期に
上昇したのは3回
(上昇確率 37.5%)
株価の平均騰落率は▲9.3%

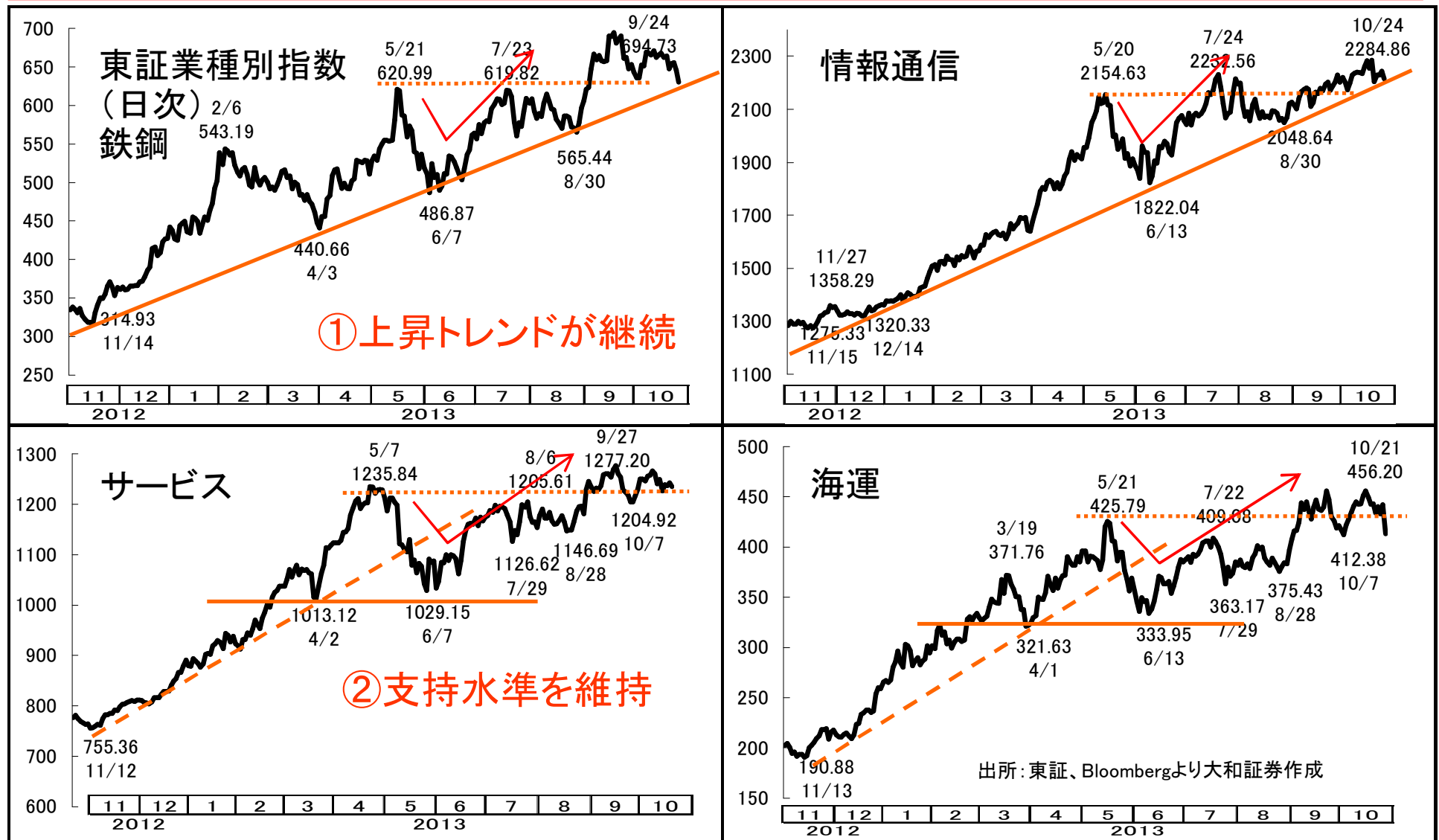
10月の株価が戻るかが当面のカギに

日本株は選挙前に株高、参院選・消費増税に向け政策発動へ



2013/7/21 参議院選挙
(日経平均は直前週の7/19高値)
2014/12/14 衆議院選挙
(日経平均は直前週の12/8高値)
2015/4/12、26 統一地方選挙
(日経平均は直前週の4/10、4/23高値)

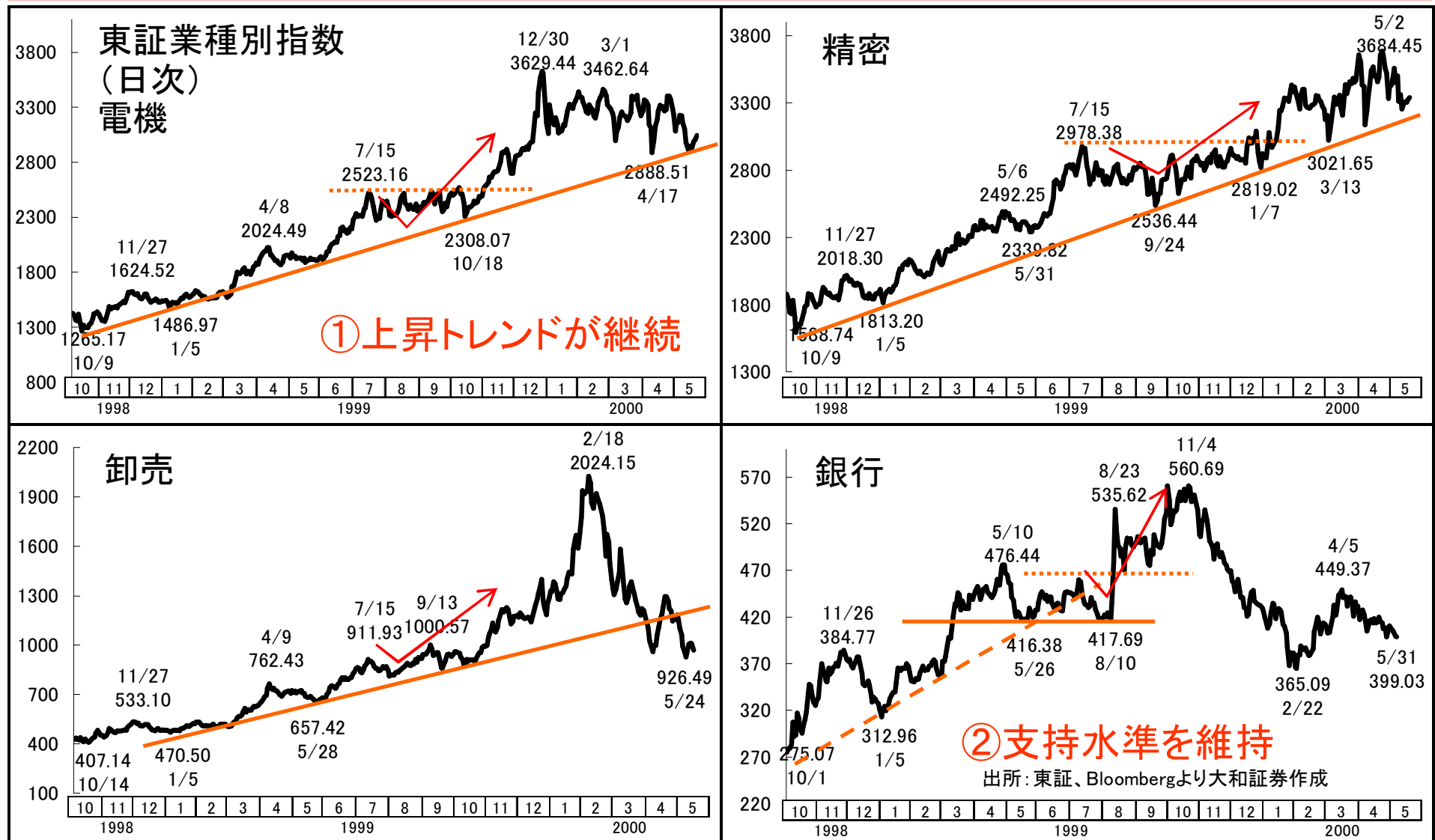
2013年5月の急落場面で、いち早く株価が回復したセクター



①類似例: 建設、ガラス・土石、小売など

②類似例: 紙パルプ、ゴム、非鉄金属、空運、保険など

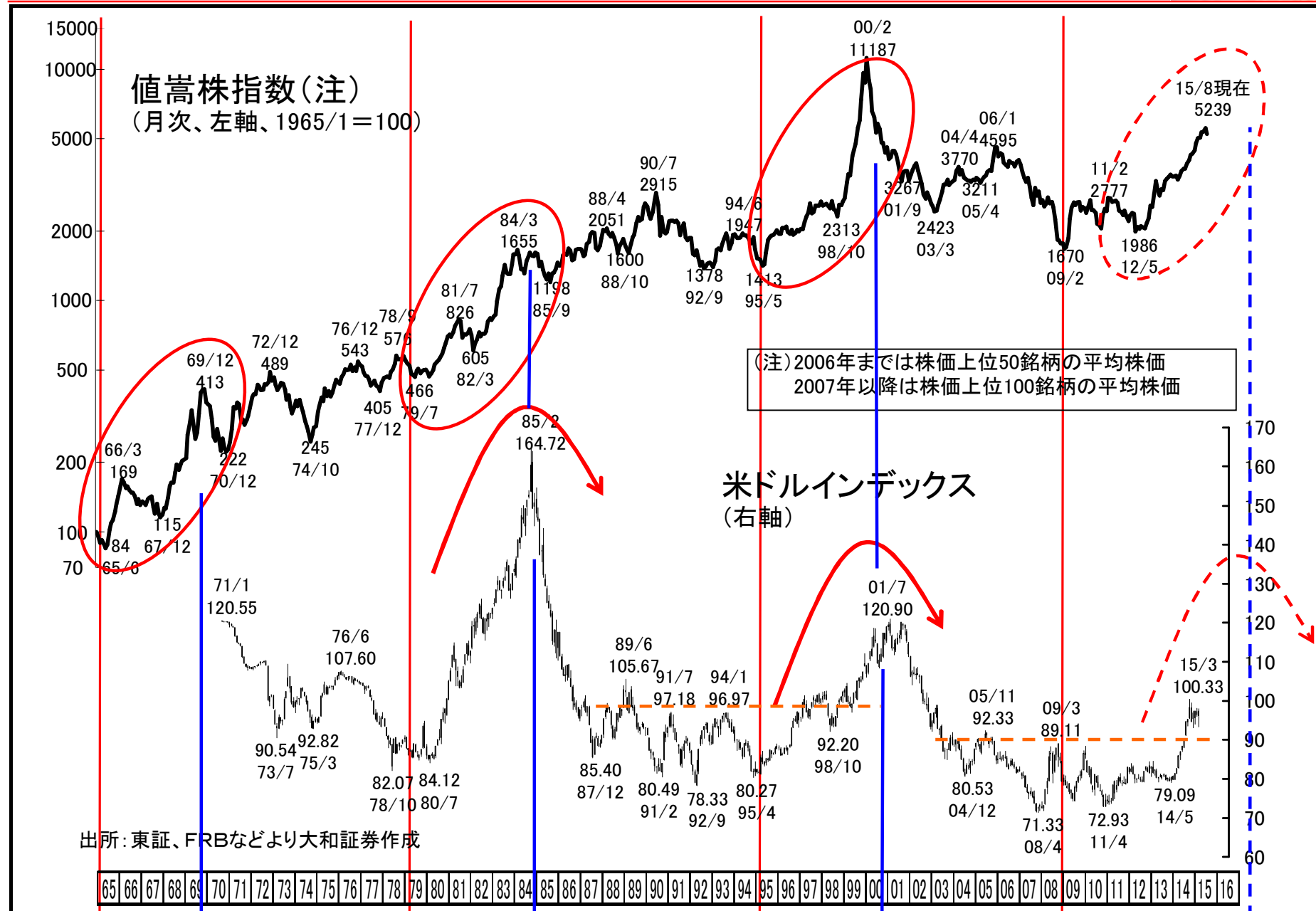
1999年7月の急落場面で、いち早く株価が回復したセクター



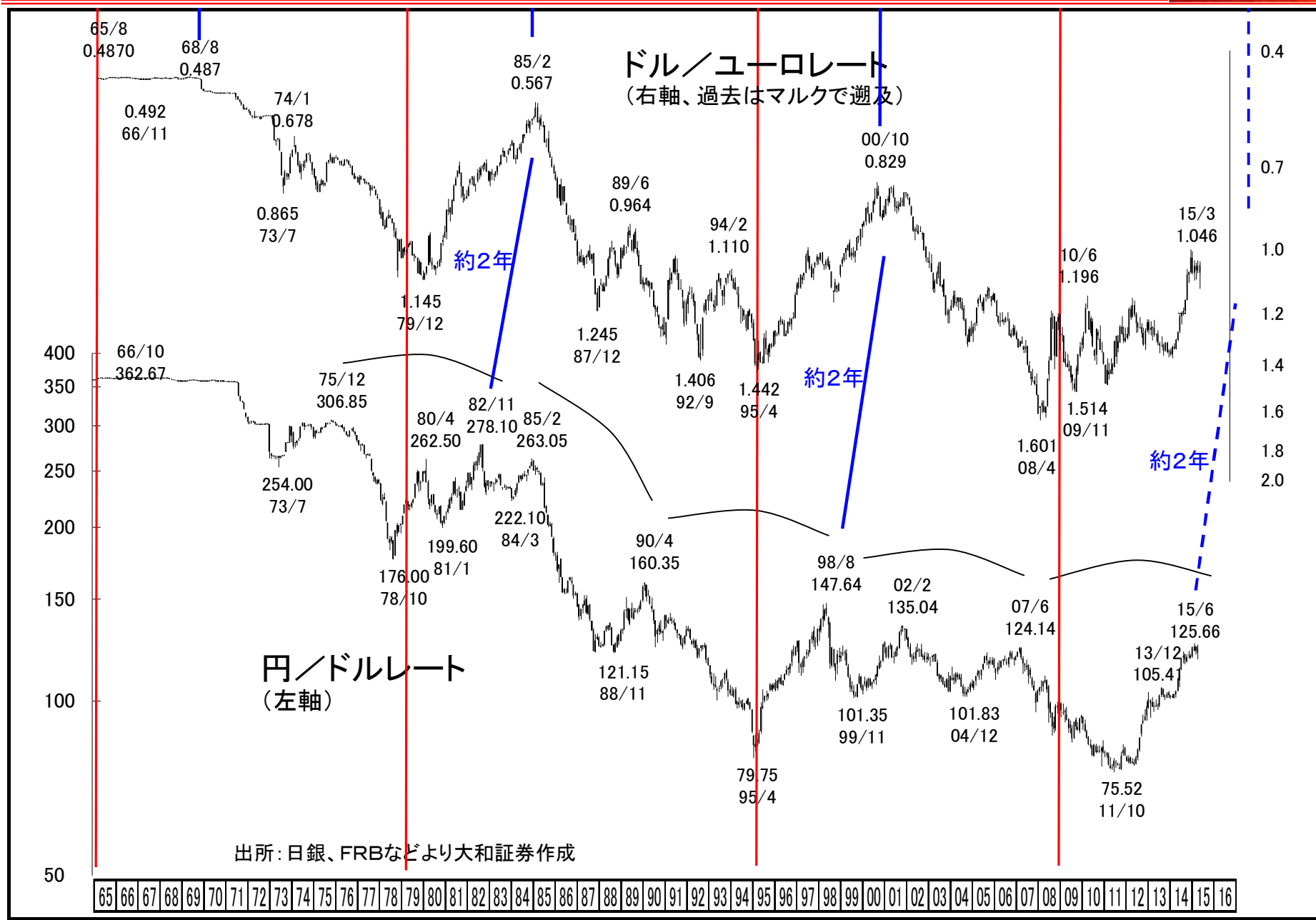
①類似例: 情報通信、小売、証券、サービスなど

②類似例: 非鉄金属、輸送機など

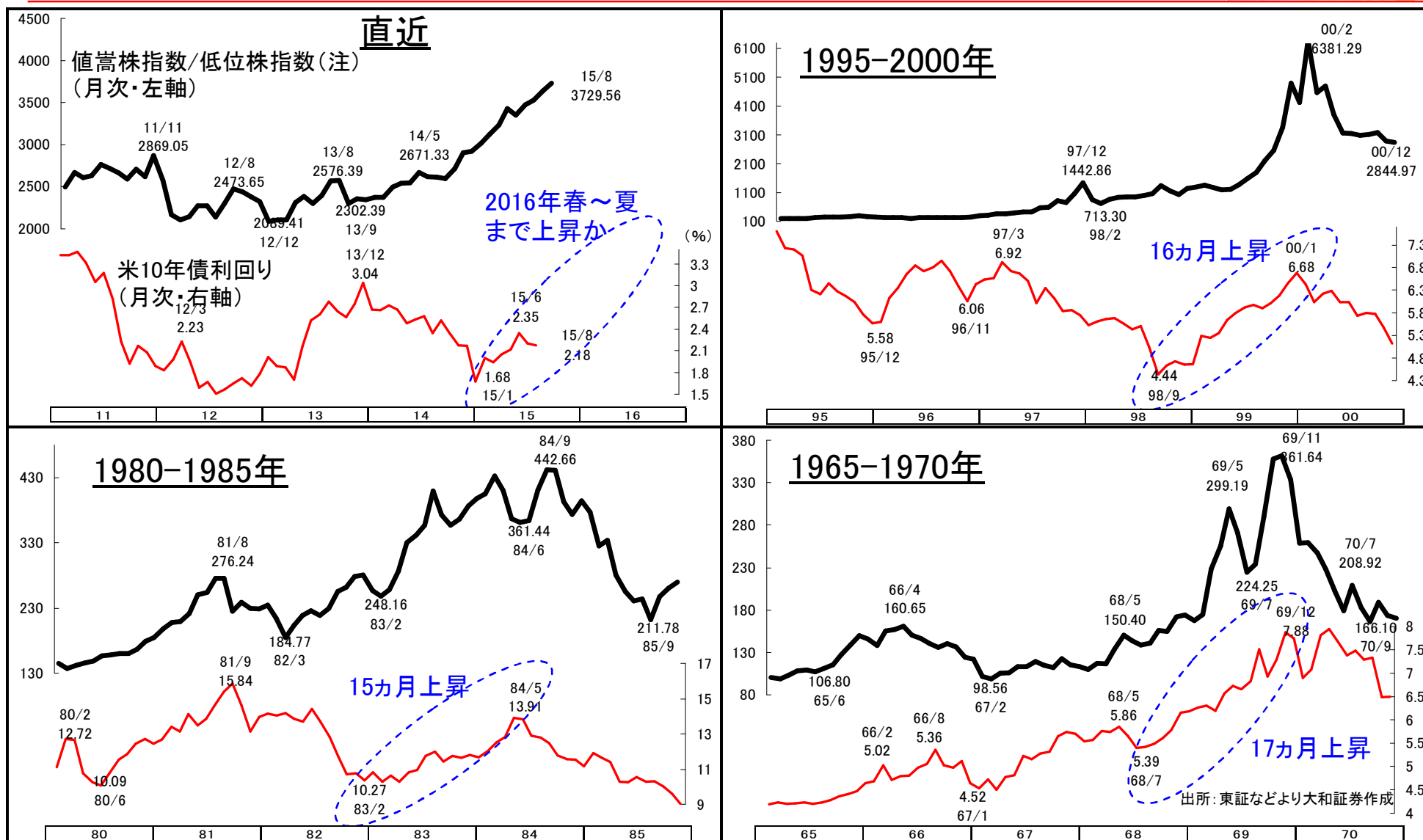
ドルインデックスは約16年サイクル。ドル高時に値嵩株物色



ドルのピークは、円安のピークよりも2年程度遅れる

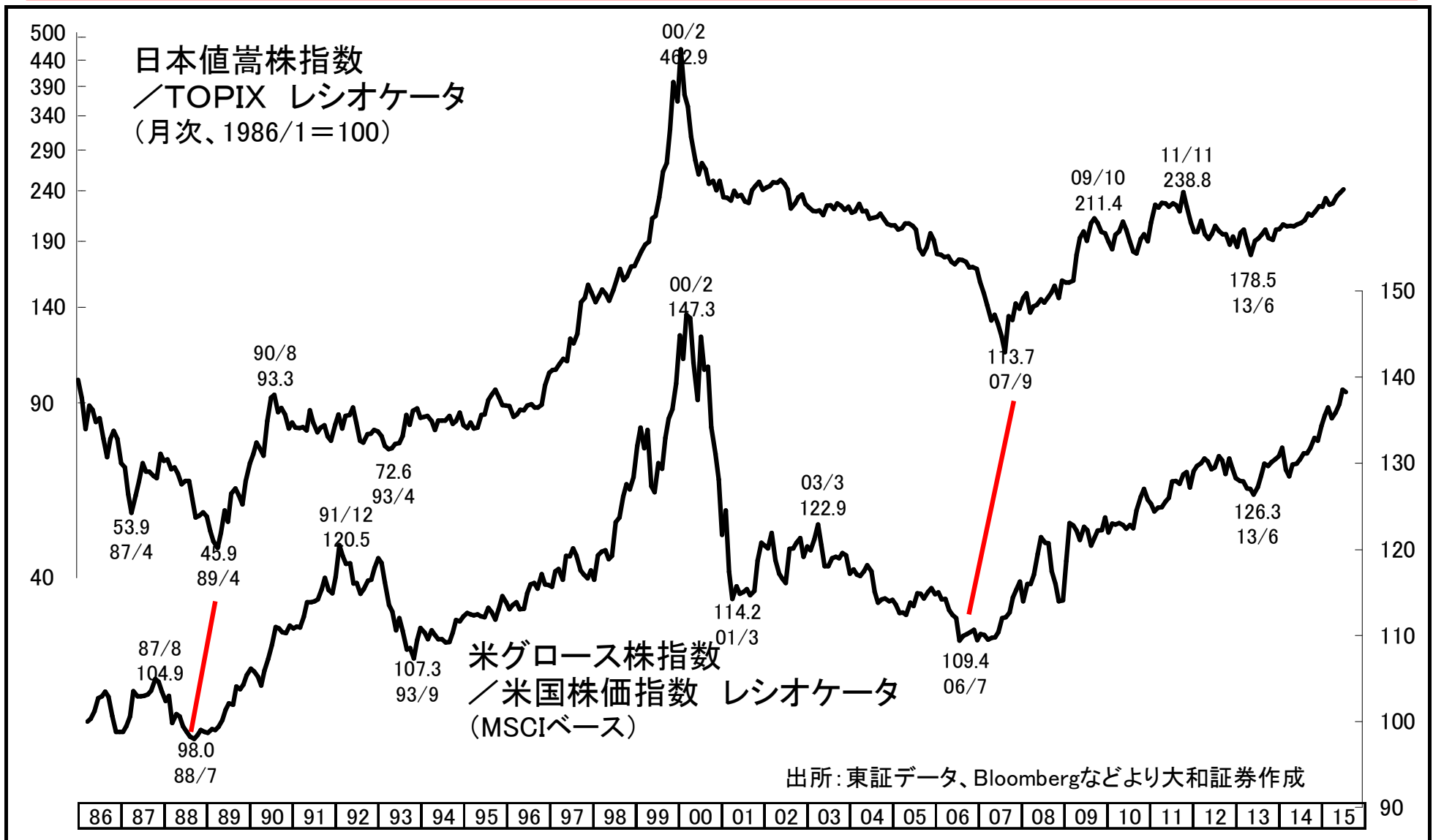


米長期金利の上昇場面では、日本の値嵩株相場が継続

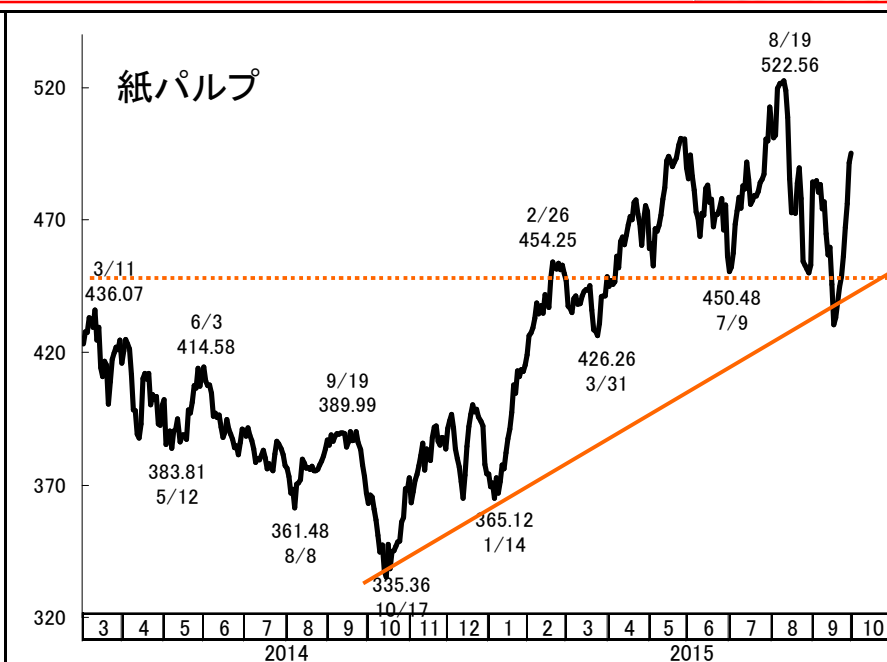


(注) 2006年までは株価上位(下位)50銘柄の平均株価
2007年以降は株価上位(下位)100銘柄の平均株価

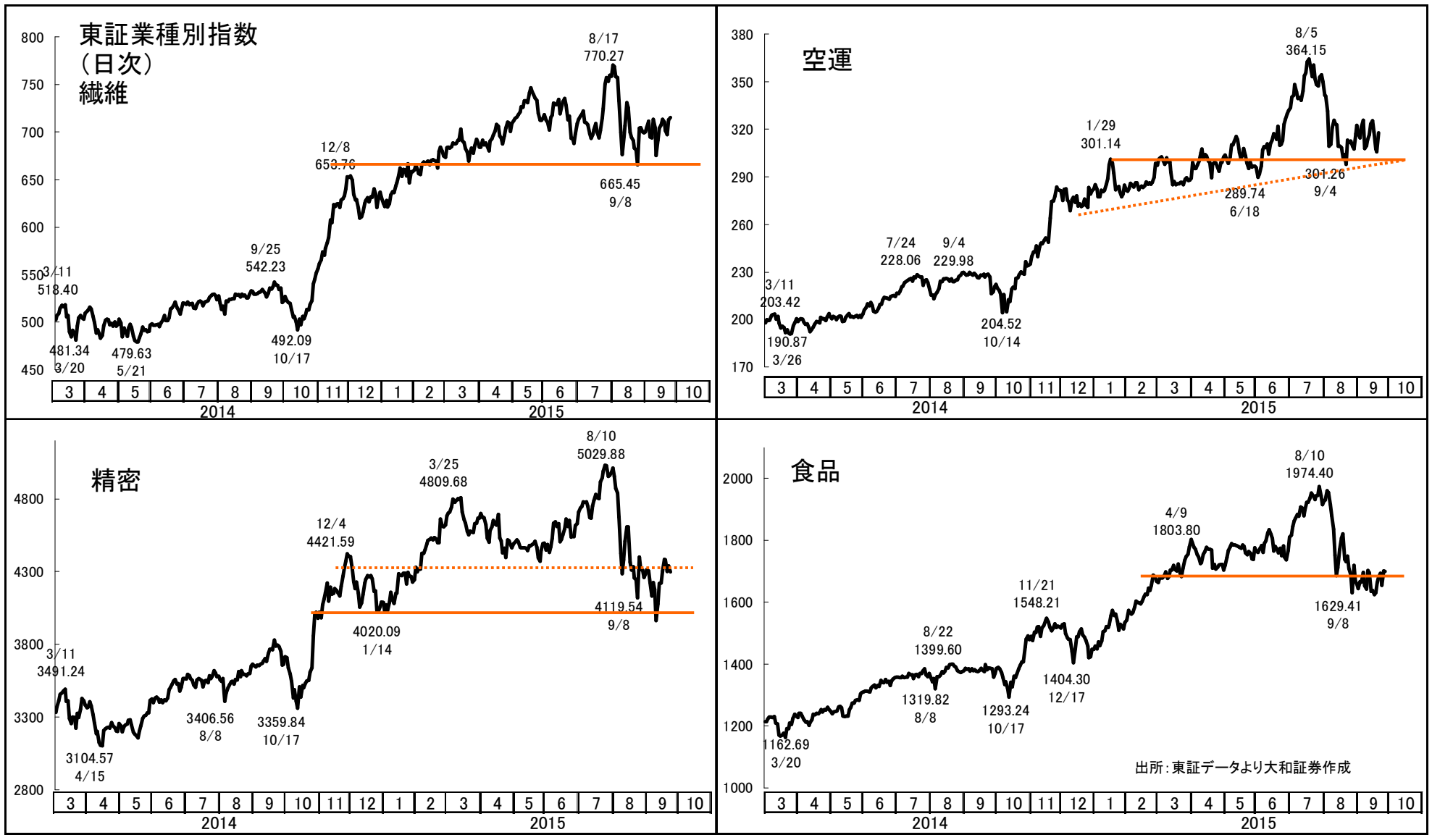
グロース株相場が継続中。東京市場では値嵩株が優位に



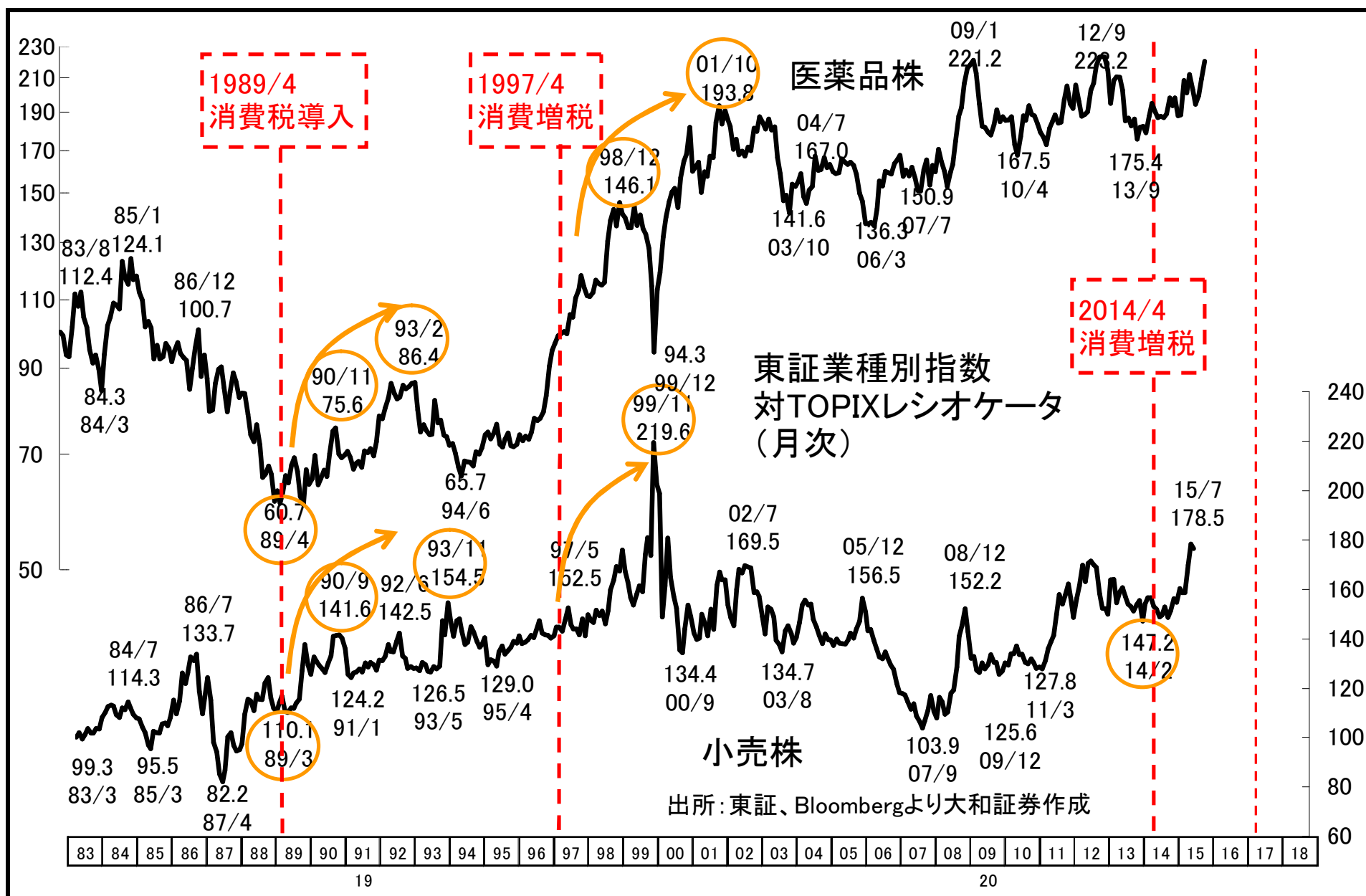
今回、上昇トレンドが継続しているセクター



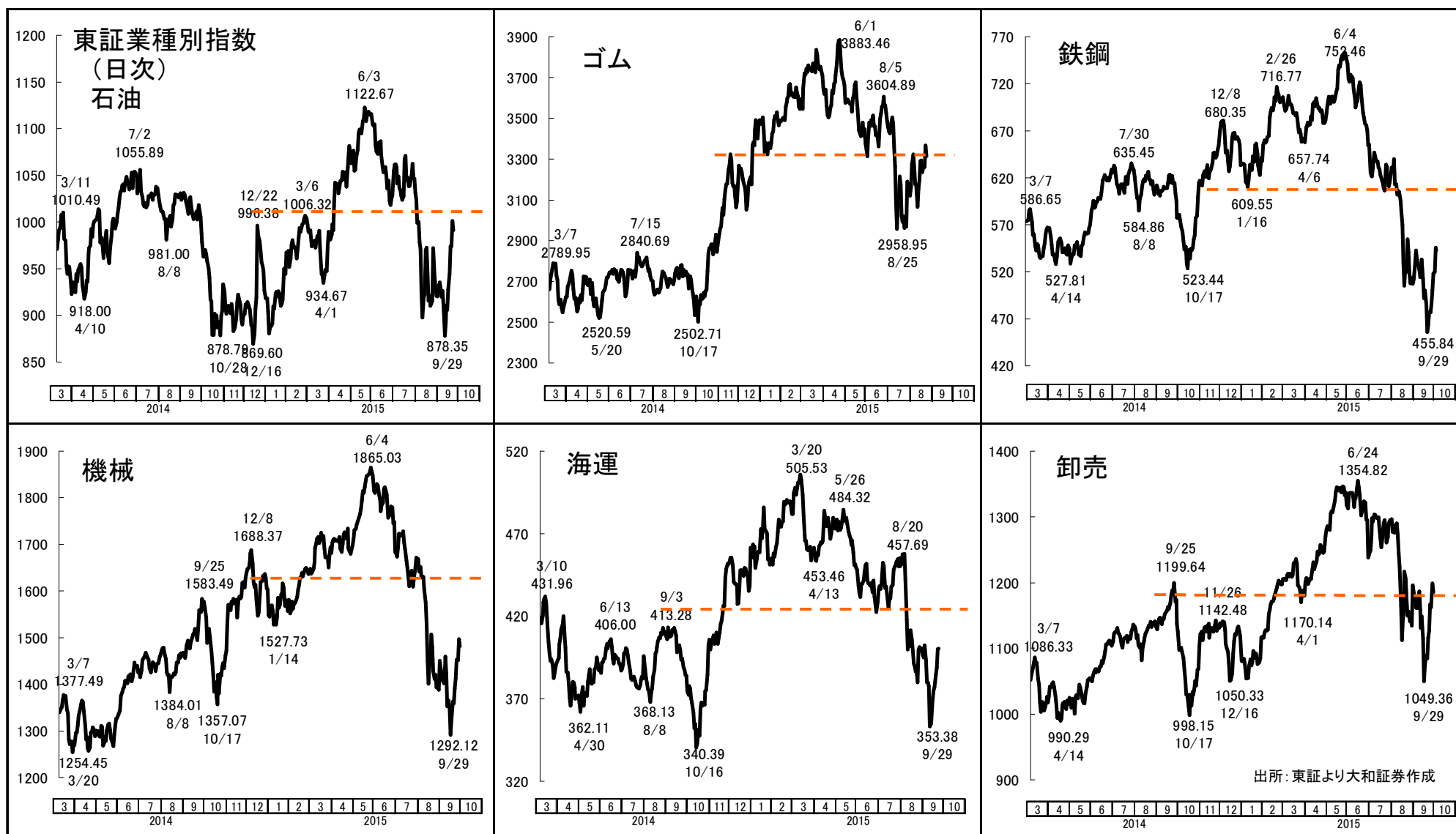
今回、支持水準を維持しているセクター



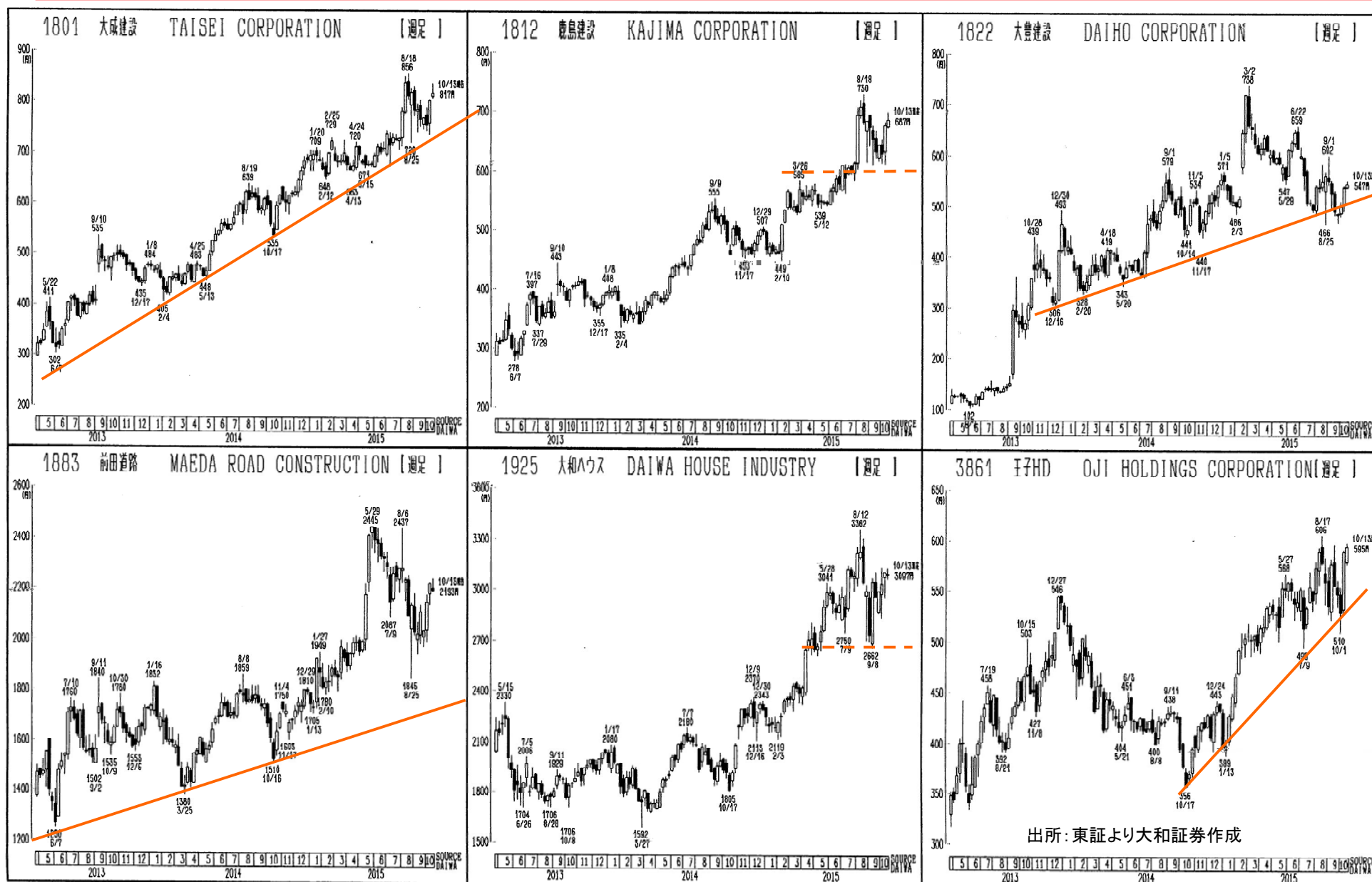
消費増税後、最大4年程度はディフェンシブセクターが堅調に



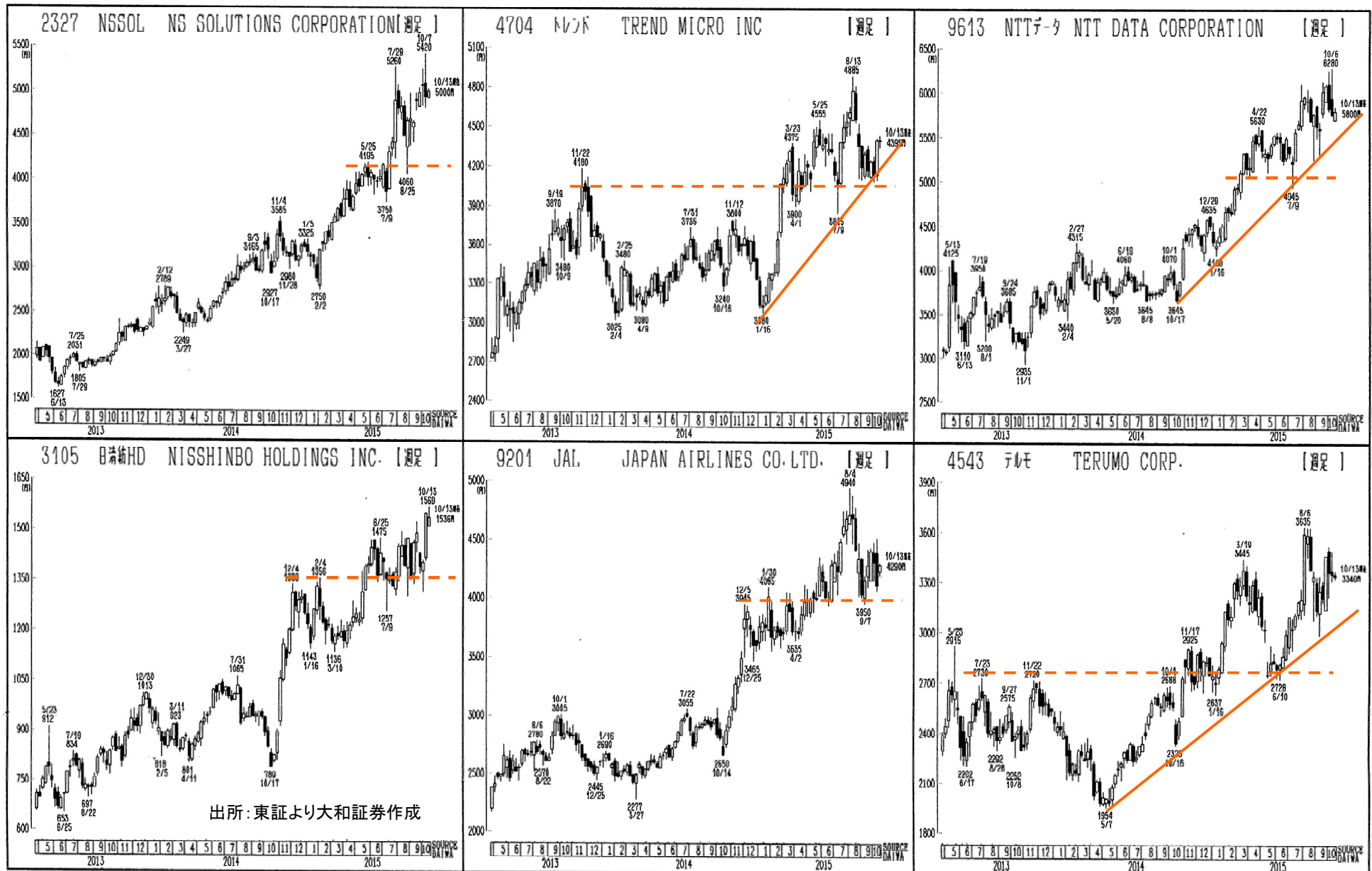
支持水準を下回ったセクターは、今後の上値が重い可能性



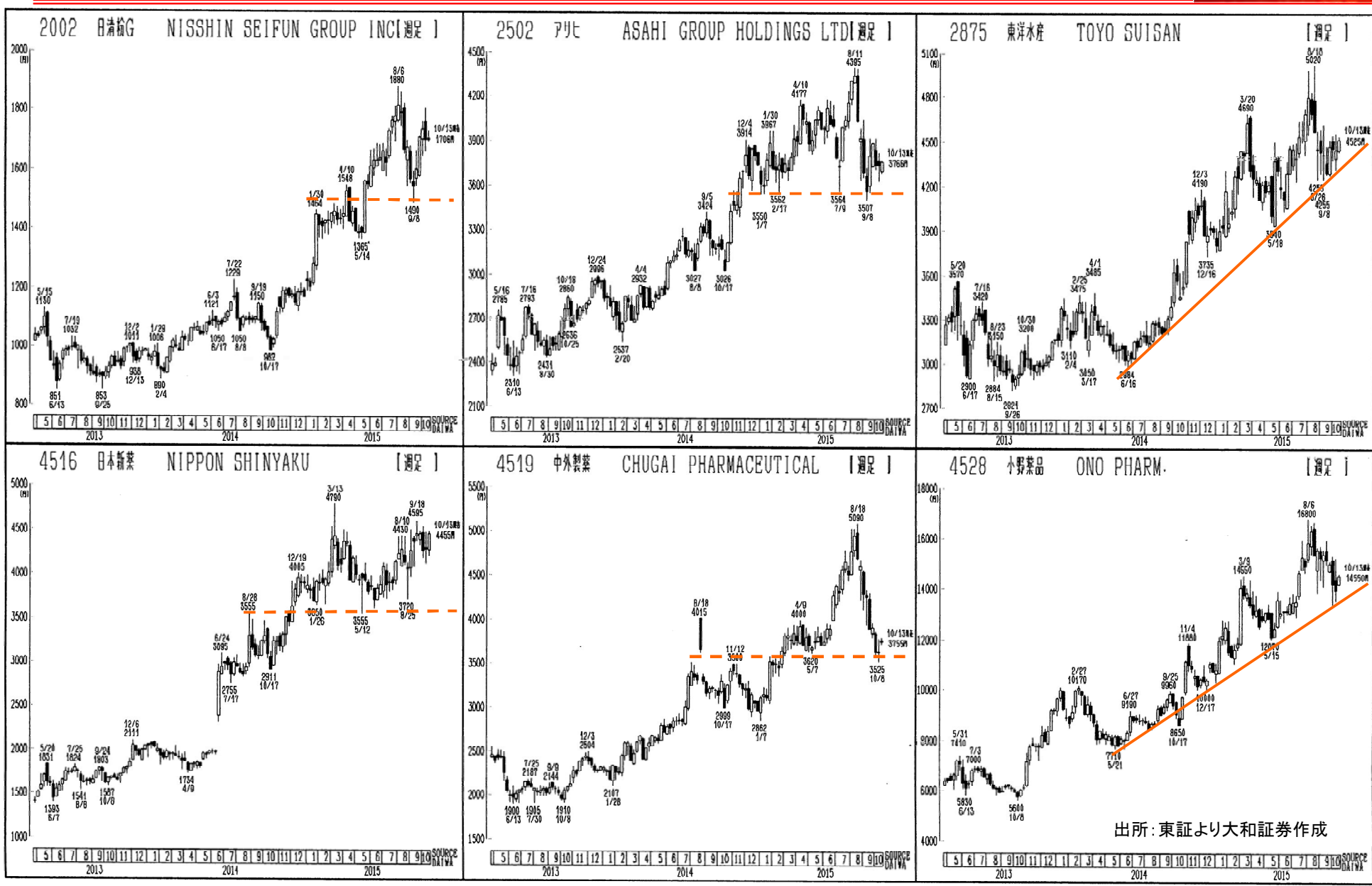
参考銘柄チャート①: 建設、紙パルプ



参考銘柄チャート②: 情報通信、繊維、空運、精密



参考銘柄チャート③: 食品、医薬品



開示事項

【株式レーティング記号について】

株式レーティング記号は、今後12ヶ月程度のパフォーマンスがベンチマークとする株価指数の騰落率と比べ、以下の通り判断した事を示します。（2015年1月以降のレーティング付与或いは更新より適用。2014年12月末以前に付与或いは更新されたレーティングについては6ヶ月程度のパフォーマンスとベンチマークとする株価指数の騰落率との比較です）

- 1（買い）=15%以上上回る
- 2（アウトパフォーム）=5%～15%上回る
- 3（中立）=±5%未満
- 4（アンダーパフォーム）=5%～15%下回る
- 5（売り）=15%以上下回る

各国におけるベンチマークは以下の通りです。

日本：TOPIX、米国：S&P 500、欧州：STOXX Europe 600、香港：ハンセン指数、シンガポール：ストレイト・タイムズ指数、韓国：韓国総合指数、台湾：加権指数、オーストラリア：S&P ASX200指数

【利益相反関係の可能性について】

大和証券は、このレポートに記載された会社に対し、投資銀行業務に係るサービスの提供、その他の取引等を行っている、または行う場合があります。そのような場合には、大和証券に利益相反が生じる可能性があります。

【当社及び大和証券グループについて】

大和証券は、㈱大和証券グループ本社の子会社です。

【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株式等を合計5%超保有しているとして大量保有報告を行っている会社は以下の通りです。（平成27年9月30日現在）

北弘電社(1734) 大豊建設(1822) イチケン(1847) テノックス(1905) 高橋カーテンウォール工業(1994) アコーディア・ゴルフ(2131) 日本マニュファクチャリングサービス(2162) キャリアデザインセンター(2410) MCUBS Mid City投資法人(3227) サムティ(3244) サンセイランディック(3277) 星野リゾート・リート投資法人(3287) インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人(3298) ムゲンエステート(3299) 日本ヘルスケア投資法人(3308) BEENOS(3328) クリヤマホールディングス(3355) ケー・エフ・シー(3420) サンコーテクノ(3435) トーセイ・リート投資法人(3451) テックファームホールディングス(3625) エムアップ(3661) モブキャスト(3664) enish(3667) アバント(3836) データ・アプリケーション(3848) 神島化学工業(4026) タイガースポリマー(4231) セブテーニ・ホールディングス(4293) ソースネクスト(4344) ラクオリア創薬(4579) 相模ゴム工業(5194) ノザワ(5237) 中山製鋼所(5408) 日本精鉱(5729) 東京製綱(5981) テクノプロ・ホールディングス(6028) リンクバル(6046) 日進工具(6157) 中村超硬(6166) オカダアイオン(6294) ワイエイシイ(6298) 三相電機(6518) ダブル・スコープ(6619) 寺崎電気産業(6637) 戸上電機製作所(6643) ミツミ電機(6767) スミダコーポレーション(6817) フェローテック(6890) エノモト(6928) 山一電機(6941) アストマックス(7162) ノジマ(7419) 大興電子通信(8023) ニチモウ(8091) マネースクウェアHD(8728) マネーパートナーズグループ(8732) 大和証券オフィス投資法人(8976) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 日本賃貸住宅投資法人(8986) セレスポ(9625) 帝国ホテル(9708) 丸紅建材リース(9763) パーカーコーポレーション(9845) バイテックホールディングス(9957)（銘柄コード順）

【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、平成26年10月以降下記の銘柄に関する募集・売出し（普通社債を除く）にあたり主幹事会社を担当しています。

大豊建設(1822) ダイユーエイト(2662) 北の達人コーポレーション(2930) ヒューリック(3003) 鳥貴族(3193) ホットランド(3196) 大和ハウスリート投資法人(3263) アクティブア・プロパティーズ投資法人(3279) イオンリート投資法人(3292) ヒューリックリート投資法人(3295) 日本ヘルスケア投資法人(3308) トリドール(3397) トーセイ・リート投資法人(3451) ケネディクス商業リート投資法人(3453) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) テクノスジャパン(3666) オプティム(3694) クラウドワークス(3900) カヤック(3904) データセクション(3905) テラスカイ(3915) 竹本容器(4248) メディカルシステムネットワーク(4350) 楽天(4755) 日本エンタープライズ(4829) デクセリアルズ(4980) クニミネ工業(5388) GMO TECH(6026) アドベンチャー(6030) インターワークス(6032) エクストリーム(6033) MRT(6034) ファーストロジック(6037) パンチ工業(6165) ブランジスタ(6176) 日本郵政(6178) GMOメディア(6180) ソニー(6758) かんぽ生命保険(7181) ゆうちょ銀行(7182) アトム(7412) メニコン(7780) プラッツ(7813) 菊水化学工業(7953) T A S A K I(7968) 極東貿易(8093) オリックス不動産投資法人(8954) 平和不動産リート投資法人(8966) 大和証券オフィス投資法人(8976) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 日本賃貸住宅投資法人(8986) スマートバリュー(9417) U-NEXT(9418) エムティーアイ(9438) 広島ガス(9535) アイ・エス・ビー(9702) 学究社(9769) 蔵王産業(9986)（銘柄コード順）

【その他の留意事項】

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。レポートに記載された内容等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。内容に関する一切の権利は大和証券にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
 加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会